

令和4年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受賞者

● ソニーシティ

とらのもん もり
● 虎ノ門33 森ビル

(五十音順)



港区
リユースキャラクター
リ्यू助



港区
リサイクルキャラクター
エコル

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21(2009)年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績をあげている事業者等を表彰しています。

これまでの受賞者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介しています。これらの取組を事業者によるごみの減量・資源の再利用の自主的な取組の促進に向けた一助としてお役立てください。

ソニーシティ

受賞者	ソニーシティ
建物所在地	港南1-7-1
延床面積	162,888㎡



表彰理由

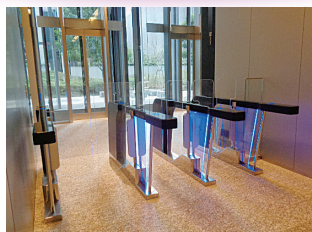
出退勤データを利用した社員食堂における調理量調節による食品廃棄の削減、ごみ容器を共用として社員一人ひとりによる分別など、廃棄物管理責任者のみならずビル全体としての工夫をこらした積極的な取組が評価された。

ペットボトル用ごみ箱



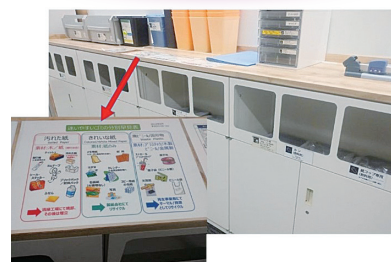
本体・ラベル・キャップの3つに分け、透明にすることで分別の意識付けを促進

セキュリティゲートの通過データ活用



ゲートの社員通過データから得られる在館人数データを毎日社員食堂へ共有し、調理量を調整することで食材廃棄を削減

ごみ分別ルール



分別に迷いやすいごみの分別方法をイラスト付きで案内

受賞者の声

ソニーシティは、ソニーグループ株式会社（当時：ソニー株式会社）とソニー生命保険株式会社により、2006年10月に竣工した地上20階地下2階建てのビルです。グループ社員が最大で約8,000人勤務可能で、設計当初より地球環境に配慮したシステムに主眼を置くとともに、運用面でも環境配慮に継続的に取り組んでまいりました。ソニーはグループ全体で、2050年までに環境負荷ゼロの達成を目指しており、資源の有効活用や生物多様性の保全の観点から、当ビルを含む各事業所におけるごみ排出量の削減にも重点的に取り組んでいます。

以下に、当ビルにおけるごみ排出量の削減に関わる主な取り組みを2点ご紹介します。

1. 社員食堂における食品廃棄の削減

セキュリティゲートの社員通過情報に基づく当日のビル在館人数を1日2回、総務から食堂の運営会社へ共有しています。このデータを元に、当日の食堂での調理量を調整し、食材廃棄の削減に努めています。また、食材の廃棄量を計量することで、今後の調理量調整による廃棄削減改善につなげるようにしています。

2. 分別・再利用への意識付け

社員一人ひとりに分別を意識してもらう取り組みを行っています。例えば、自動販売機ベンダー会社と連携し、自動販売機の横にペットボトル本体・ラベル・キャップの3つに分けた透明なごみ箱を設置し、中を見える化して分別の意識付けを行っています。

また、再利用可能な段ボールや梱包材などは廃棄せず、各階の共通エリアに設けたエコルームで保管しています。各個人が必要な際に再利用するというルールを設けることで、社員一人ひとりの再利用への意識付けと排出量削減を両立しています。

こうした日々の取り組みを評価いただき、この度、港区ごみ減量優良事業者表彰を受賞できたことは大変光栄です。この表彰を励みに、今後も引き続きごみ排出量の削減に積極的に取り組んでいきます。

虎ノ門33森ビル

受 賞 者	虎ノ門33 森ビル
建 物 所 在 地	虎ノ門3-8-21
延 床 面 積	25,021㎡



表彰理由

廃棄物保管場所における分かりやすい分別表示や、豆知識やQ & Aなどを取り入れたリサイクルハンドブックの活用など、効果的な取組により、建物全体の良好な分別状況の維持に努めていることが評価された。

リサイクルハンドブック



ごみ分別一覧

リサイクル項目を16品目分けて一覧にし、リサイクル意識向上

各廃棄物がどのようなリサイクル品に生まれ変わるのかを一覧として記載



リサイクル方法やリサイクルに関するQ&A等をまとめた冊子をビル内共有

受賞者の声

虎ノ門33森ビル（以下、当ビル）は、1977年に竣工した地上10階、地下2階建てのオフィス、店舗からなる複合施設です。

港区虎ノ門は、官公庁や国内外有数の企業が集積するビジネスエリアであり、当ビルには国内外に亘る企業約20社が入居しており、現在、約1500名の従業員が勤務されています。

弊社は「Vertical Garden City=立体緑園都市」を理想とする「まちづくりとその運営」を通じて、“都市と自然の共生”、“都市の低炭素化”、“資源循環”を推進し、持続可能な社会の実現に向けて廃棄物の減量に取り組んでいます。

近年では、サステナビリティに関する取り組みのさらなる推進を図るため、「サステナビリティ委員会」を設置し、気候変動をはじめとする様々な環境問題への対応に関する取り組みの推進・管理を行っております。

廃棄物処理に関しては、2010年より3R活動をスタートし、分別によるごみ減量及び資源化を推進してきました。ビル管理者だけでなく、お客様にも分別を意識して行っていただける様に日々工夫し取り組んでいます。

取り組みの一つとして、テナント入居時に館内のごみ分別方法を明記するリサイクルハンドブックの配布を行い、各分別容器ごとにも分かりやすく分別方法を掲示することで、ごみ発生時に細かく分別していただく様子をしております。また、各居室より回収した廃棄物については、リサイクル可能な資源ごみが混在していないかチェックを実施し、混在している場合は再度分別のうえ回収しております。

以上のような取り組みを通し、今後も燃やすごみとして捨てられたごみの中に多く紛れる紙ごみの分別精度を向上させ、回収した紙ごみを100%リサイクルして、全体のリサイクル率の大幅アップを目指しています。また、当ビルとして、この度の受賞を励みに更なるごみの減量化・リサイクル率向上を目標に管理運営いたします。

「環境に配慮した模範的な取組を行っている 事業者等を表彰しています」

港区ごみ減量優良事業者等表彰の審査項目は、次のとおりです。

- (1) 収集運搬経費がミックスペーパーを含めて単価契約（kg 単価 × 発生量）である。
- (2) 紙ごみ減量のため、ミックスペーパーのリサイクルを行っている。
- (3) 分別表示が見やすく、分かりやすい。
- (4) 社員・テナントの分別意識が高く、手元分別の仕組みができている。
- (5) 実量測定等により排出量を把握し、適正管理に努めている。
- (6) その他独自の優れた取組



これまでの受賞者一覧

年 度	規 模	建築物名称
H27	5,000㎡以上	NBF プラチナタワー
		JR 品川イーストビル
		新日鉄興和不動産本社ビル
		虎ノ門2丁目タワー
	1,000㎡以上5,000㎡未満	中野ビル
H28	5,000㎡以上	SME 乃木坂ビル
		東京都立芝商業高等学校
		日立ハイテクビルディング
H29	5,000㎡以上	品川シーズンテラス
		三菱東京 UFJ 銀行芝ビル
		ヤクルト本社ビル
		虎ノ門 A ビル

年 度	規 模	建築物名称
H30	5,000㎡以上	東亜合成ビル
		共栄火災新橋本社ビル
		東京都立青山特別支援学校校舎棟
R 元	5,000㎡以上	NTT ドコモ品川ビル
		学校法人頌栄女子学院
R2	5,000㎡以上	汐留メディアタワー
		明産西新橋ビル
R3	5,000㎡以上	赤坂インターシティ AIR
		サントリーホール
		帝国データバンク本社ビル
		東京ガスビルディング

受賞者の皆様の取組については、港区公式ホームページをご覧ください！
以下の場所に取り組内容をまとめたリーフレットが掲載されています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



発行 港区環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃事務所
〒108-0075 港区港南3-9-59 TEL(3450)8025

令和5(2023)年3月発行

発行番号 2022193 - 5651



この印刷物は環境に配慮し、古紙配合率70%再生紙
及び大豆インキを使用しています